

---

# 妄想日記

ナイン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

妄想日記

### 【Nコード】

N0573Z

### 【作者名】

ナイン

### 【あらすじ】

睡眠とは人生の3分の1を費やす。ならば、より満足する睡眠を求めたいものだ。そこで、寝るために瞳を閉じているわずかな時間に妄想してみよう。

このお話は、妄想のためのシナリオです。なので物語は途中で終わり、続きを各々ワクワク、ウキウキしながら妄想して楽しんでください。

（本日の設定）

俺

16歳の高校1年生。兵庫県の公立高校の野球部に所属。プロのスカウトも注目株の剛腕で、ストレートは155キロを超える。変化球も多彩で、ダルビッシュ以来の大型左腕である。

気になるあの子

16歳の高校1年生。俺と同じクラスで野球部のマネージャー。

ストーリー

「授業中ですが、校内放送をいたします。野球部の部員、およびマネージャーは至急正門に集合してください。」

クラスのみんな「頑張れ！今日勝てば、この学校始まって以来の甲子園出場！」

クラスのみんな「応援してるよ！」

クラスのみんな「お前ならできる！」

俺「ありがとう！行ってくる！」

激励を受けながら俺はクラスを後にした。

気になるあの子「さっ！遅れないように急ぐよー！」

2人で廊下を走りながら正門を目指す。

気になるあの子「今日勝てば甲子園だね。もし、もしもだよ！今日勝ったら伝えたいことがあるんだ。」

俺「何？気になるから今教えてよ！」

気になるあの子「…内緒。」

俺「なんだよ！！」

そんなやり取りをしながら俺たちは部員たちと合流した。そして球場に向かってバスは走り出した。

主審「プレイボール！！」

試合が始まり、予想通りの終盤までの投手戦。しかし、9回、バッターの打った球が俺の右肩に直撃。みんなで甲子園に行きたい俺は痛みに耐えながら続投を希望。この後、味方のエラーもありノーアウト満塁に。マウンドで円陣を組み、エラーした部員のためにも気力でこの場を抑える。そして延長戦へ。

この後は皆さんで各々妄想して楽しんでください(ー3ー)

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0573z/>

---

妄想日記

2011年12月2日01時47分発行